

(令和3年第4回大崎市議会定例会)

# 行政報告

令和3年12月8日

本日，ここに令和3年第4回大崎市議会定例会が開催されるに当たり，当面の諸問題及び行政の一端を申し述べ，議員並びに市民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本市における新型コロナウイルス感染症の状況につきましては，9月29日以降，本日まで新規感染者が確認されておられません。

ひとえに，市民皆様をはじめ各種団体や事業者の皆様，さらには医療機関に従事されている皆様のご協力とご尽力によるものと感謝申し上げます。

しかし，冬季を迎え屋内で窓を閉めた活動が増えることや，日本でもオミクロン株による感染者が確認されていることから，引き続き感染対策の徹底を呼び掛けてまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種につきましては，11月30日現在で，10万2,889名が1回目の接種を行っており，2回目の接種が終わった方は10万1,098名の85.66パ

ーセントとなっております。

11月末までに、対象者の80パーセントの方が接種するという目標を達成したところでございます。

まだ一度も接種していない方につきましては、接種を希望する方を対象に規模を縮小して引き続き実施してまいります。

また、2回目の接種から8か月が経過した方を対象にした3回目の追加接種につきましては、今月中に大崎市民病院の医療従事者が完了し、来年1月からは、市内各医療機関の医療従事者及び高齢者施設での接種を行います。

2月からは、高齢者の追加接種を行う計画で接種体制及び追加接種用予診票の発送準備に取り組んでおります。

引き続き、関係機関と連携して、円滑な接種体制を構築し、感染症の予防に取り組んでまいります。

なお、JR古川駅前ふるさとプラザ1階では、民間事業者の木下グループがPCR検査センターを開設しております。

無症状の方で検査を希望する場合は、何度でも安価で受けることができますので、不安の解消と、安心・安全な社会経済活動の継続に役立てていただきたいと思います。

さて、国においては、令和3年11月10日に岸田文雄氏が、第101代内閣総理大臣に就任し、第2次岸田内閣が発足しました。

岸田総理は、新型コロナウイルス対応、経済政策、外交・安全保障について、スピード感を持って政策実行に全力を挙げると述べられました。

新型コロナウイルス感染症の影響で疲弊する地方経済の再生や人口減少、国土強靱化などの地方の課題に積極的に取り組むことを期待するものであります。

一方、宮城県知事選挙においては、村井嘉浩知事が5回目の当選を果たされました。

引き続き、地方創生やアフターコロナの取組に期待するものであります。

また、宮城県議会においては、大崎選挙区選

出の菊地恵一氏が11月24日に第45代議長に就任されました。

菊地新議長の高い見識と行動力を生かし、県民目線での議会改革に取り組んでいただきますとともに、本市と宮城県とのパイプ役として、大いにその活躍を期待しております。

ここで、本市の明るい話題につきましても、ご報告申し上げます。

11月7日に開催された第50回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会マーチングバンド部門において、ビデオ審査の結果、鹿島台小学校ブラスバンドが金賞を受賞し、全国大会の出場が決定しました。

また、11月28日には、田尻文化センターを会場に開催された、第10回東北太鼓ジュニアコンクールにおいて、高倉薬太鼓が創設初となる東北大会での優勝を飾りました。

今後、開催される全国大会での素晴らしいご活躍を期待するものであります。

それでは、以下、令和3年第3回大崎市議会定例会以降の行政報告を申し述べます。

○第2次大崎市総合計画後期基本計画及び第2次大崎市産業振興計画後期計画の策定について申し上げます。

両計画につきましては、9月17日から10月25日にかけて、パブリックコメントを実施するとともに、10月16日から24日にかけて、市内7地域を会場に住民説明懇談会を開催し、多くの方々から貴重なご意見を賜りました。

11月15日には大崎市産業振興対策審議会、11月19日には大崎市総合計画審議会から答申を受けており、さらには議会の特別委員会における議論を踏まえつつ、議会へ上程するまでの過程を完了いたしました。

このあとには、今定例会に議案として提出させていただく所存であります。

○大崎市誕生15周年記念事業について申し上げます。

1 1 月 3 日 の 文 化 の 日 に ， 「 令 和 3 年 大 崎 市 表 彰 式 」 と あ わ せ て 「 大 崎 市 誕 生 1 5 周 年 記 念 式 典 」 を 開 催 いた した し ま した 。 市 政 の 各 般 に わ た り ご 尽 力 を 賜 り ま した 方 々 へ の 表 彰 の ほ か ， 2 種 類 の 記 念 映 像 の 上 映 と あ わ せ ， お お さ き 宝 大 使 である 水 森 か お り さ ん の ミ ニ コ ン サ ー ト で 式 典 に 花 を 添 え て いた だ く な ど ， 多 く の 市 民 皆 様 と 1 5 周 年 を お 祝 い す る こ と が で き ま した 。

今 後 も 2 0 年 の 節 目 に 向 け て 魅 力 ある ま ち づ くり を 進 め て ま い り ま す 。

○ 鳴 子 総 合 支 所 庁 舎 等 複 合 施 設 に つ い て 申 し 上 げ ま す 。

本 施 設 に つ き ま し て は ， 9 月 2 5 日 ・ 2 6 日 の 両 日 に 完 成 内 覧 会 を 開 催 し ， 2 日 間 で 1 8 0 名 の 方 々 に ご 覧 いた だ き ま した 。 ま た ， 1 0 月 1 1 日 に は 6 8 名 の ご 臨 席 を 賜 り 開 庁 式 を 挙 行 し ， 無 事 に 供 用 を 開 始 いた した し ま した 。

今 後 は ， こ の 庁 舎 を 鳴 子 温 泉 地 域 の ラ ン ド マ ー ク と し て ， ま た 皆 様 に 愛 さ れ 親 し ま れ る 施 設 と し て 地 域 の 方 々 と と も に 育 ん で ま い り ま す 。

○第3次大崎市男女共同参画推進基本計画アクションプランの事業評価・進捗状況について申し上げます。

令和2年度に実施したアクションプランに掲げる27事業につきましては、大崎市男女共同参画推進審議会に諮問したところ、各種取組に対し、概ね、ご評価をいただきました。

一方で、男女共同参画の視点をさらに意識した行政運営についてご提言がありましたので、引き続き、本市が目指す「一人ひとりが一人の人間として大切にされる社会」の実現に向けて取り組んでまいります。

○放射性物質に汚染された農林業系廃棄物の処理について申し上げます。

焼却処理につきましては、11月30日現在で本年度処理予定量の408トン中、約363トンの処理が完了し、計画どおり進捗しております。

今後も、放射能の厳しい監視体制のもと、市民の安全・安心を最優先に取り組んでまいります。



す。

○第2次大崎市空家等対策計画について申し上げます。

本年6月に実施した空き家の所有者への意向調査結果を踏まえ、有識者で構成する空家等対策協議会において、第2次計画の内容と施策についての協議を行っております。

先般、パブリックコメントを実施しましたので、令和4年1月に最終案を取りまとめてまいります。

○デジタル・トランスフォーメーションの推進について申し上げます。

デジタル・トランスフォーメーション推進計画の策定につきましては、現在、中間案を作成しパブリックコメントを実施しております。

多様なご意見を踏まえ、令和4年2月の計画策定を目途に取り組んでまいります。

○災害義援金の配分について申し上げます。

宮城県に寄せられた「東日本大震災」及び「令和元年台風第19号災害」に係る義援金につきましては、宮城県災害義援金配分委員会において配分額が決定され、12月2日に3,284万3,523円の送金がありました。

宮城県からの配分は今回が最終となりますので、対象となる方には、大崎市受付分の東日本大震災義援金とあわせ、年内に振り込みができるよう手続を進めてまいります。

○高齢者福祉及び介護保険事業について申し上げます。

8月30日を期限として、介護サービス拠点整備実施事業者の公募を行ったところ、地域密着型介護老人福祉施設へ1者2施設、認知症対応型共同生活介護へ3者4施設、看護小規模多機能型居宅介護へ2者2施設の応募がありました。

実施事業者選定のため、計3回の選定委員会を開催した結果、応募があったすべての事業者を選定することとしました。

今後は、事業者と締結した協定書に基づき、第8期大崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画期間中の整備を進めてまいります。

また、総合事業につきましては、通所型サービスAに係る事業者の指定を行い、令和4年4月からサービス提供が開始できるよう、準備を進めてまいります。

○水稲の作柄とささ結の販売促進について申し上げます。

本年の水稲作柄につきましては、東北農政局が発表した10月25日現在の作況指数によると、県北部で101の「平年並み」となっております。

市内での一等米比率も高く、本年は特においしい新米が、市内外に出荷されております。

また、デビュー7年目を迎えた、ブランド米ささ結につきましては、10月10日に開催された新米まつりから本格的に販売が開始され、「ささ結寿司キャンペーン」の開催、姉妹都市台東区の学校給食への新米提供、さらには地元

飲食店と連携した「ささ結新米フェア」の開催など、消費拡大を図っております。

11月19日に開催いたしました「第5回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦2021」には、県内外から過去最多となる合計91点が出品され、当日はユーチューブでの生配信も行いました。

今年は、ササニシキを生産された山形県米沢市の小関泰弘さんが、ササニシキとしては初となる第5代目の「ささ王」に決定いたしました。

また、ささ結の最高賞である「大崎耕土賞」には、初代「ささ王」である佐藤徳志さんが受賞され、東京銀座の百貨店での販売が決定しておりますが、引き続き大崎発祥のササニシキ系の復権に向け、生産拡大と販売戦略を推進してまいります。

○有害鳥獣対策について申し上げます。

鳥獣被害対策実施隊員の増員や捕獲技術向上研修会などにより、捕獲数は増加している状況にあります。これまでの対策の強化に加え、捕

獲個体を有効な地域資源として活用するジビエの実施について検討してきたところであります。

11月に岩出山地域の廃校のひとつである旧真山小学校を活用したジビエ処理加工等施設の整備について、地元の方々を対象に住民説明会を開催したところ、多くの皆様にご参加いただき、前向きなご意見を頂戴しました。

今後は、早期に施設整備を行い、新たな食文化の創出や特産化による地域振興につなげてまいります。

○地場企業活性化推進事業について申し上げます。

中小企業を対象としたデジタル・トランスフォーメーション導入に関するセミナーを、12月7日、大崎市図書館を会場に、オンライン参加を併用して開催いたしました。

デジタル・トランスフォーメーションは、企業において重要な課題であることから、引き続き積極的な情報提供、導入支援に努めてまいります。

○創業支援事業について申し上げます。

地域における創業の促進を目的として策定した大崎市創業支援事業計画の円滑な実施を図るため、ネットワーク会議を11月24日に開催いたしました。市内における起業・創業の促進は、地域経済の活性化、雇用の創出にもつながることから、各支援機関と連携しながら、積極的な支援を継続してまいります。

○富山県黒部市との姉妹都市提携について申し上げます。

11月5日に、富山県黒部市と合併後初となる姉妹都市提携を行いました。

調印式は、黒部市内のホテルにおいて、YKK A P相談役で黒部市名誉市民でもある吉田忠裕様の立会いのもと、大崎市からは相澤議長、後藤副議長、公募した大崎市民親善訪問団の皆様、黒部市からは大野市長や黒部市議会をはじめ、約80名の皆様のご列席される中で執り行われました。

また、大崎市民親善訪問団は、歓迎交流会や

黒部市市制施行15周年記念式典にも出席し、黒部市民の皆様と交流を深めてまいりました。

今回の提携を契機として、産業、文化、教育など様々な分野での交流が行われ、両市の発展につながることを期待しております。

○世界農業遺産に関する取組について申し上げます。

大崎耕土におけるフィールドミュージアム構想の取組につきましては、10月から11月にかけて、伝統野菜の収穫体験を含むゆとり滞在型の農泊湯治など、ジラスツーリズム商品のモニターツアーを実施いたしました。

また、11月15日には、世界農業遺産の情報発信拠点である道の駅おおさきにおいて、上伊場野里芋や鬼首菜などの伝統野菜の販売会を開催し、食を通して大崎耕土の魅力を発信いたしました。

今後も、大崎耕土ブランドの向上に努めてまいります。

○志田谷地防災センター整備事業について申し上げます。

鹿島台志田谷地地区の吉田川水防災拠点として、国土交通省と連携し進めております、防災センターの建設につきましては、10月14日に住民の皆様にも参加をいただき、国土交通省とともに着工式を執り行いました。翌15日から工事を開始しており、年度内の建築工事完了に向け、事業を進めてまいります。

○水害に強いまちづくりに向けた取組について申し上げます。

水害に強いまちづくり共同研究の一環として、国土交通省など関係機関と連携し、11月28日に「流域治水シンポジウム」を開催いたしました。

シンポジウムでは、有識者などから今後の水害に強いまちづくりの検討に有益なご意見をいただきました。

引き続き、専門家会議での提言の取りまとめに向けて取り組んでまいります。



○市営住宅の整備について申し上げます。

岩出山上川原住宅建替事業につきましては、建設予定団地の計画に支障となる物件の解体工事を進めるとともに、建設用地の取得及び造成設計を行っております。

また、市営住宅の耐震診断事業につきましては、中層住宅がある6団地、16棟を対象に、建物の耐震性の診断を進めており、中層住宅の安全性の確保に努めてまいります。

○耐震改修促進事業について申し上げます。

木造住宅の耐震診断助成事業につきましては、11月30日現在の受付件数が32件、耐震改修工事の助成事業につきましては、受付件数が10件となっております。

また、危険ブロック塀等除却事業補助金につきましては、11月30日現在の受付件数が45件となっております。

安全で安心な市民生活の確保に向けて、木造住宅の耐震化と、危険ブロック塀等の除却を推進してまいります。

○学校教育環境整備について申し上げます。

10月28日に開催された古川西部地区学校統合準備委員会において、統合校の校名を「大崎市立古川西小中学校」とすることが決定されました。

「古川西」は、現在の中学校の校名でもあり、立地もわかりやすく、多くの方々に受け入れられる校名であると思っております。また、施設整備につきましては、現在、実施設計を行っており、令和5年4月の開校に向けて校舎等の整備を進めてまいります。

鳴子温泉地域につきましては、10月21日に各小中学校の保護者や地域の皆様を委員とした、学校統合に関する2回目の合同検討委員会を開催いたしました。委員皆様の意見を踏まえ、新たな教育環境づくりに取り組んでまいります。

○生涯学習事業について申し上げます。

11月21日に古川屋内運動場を会場に「スポーツフィールドおおさき市民交流会」を開催いたしました。

昨年に続き，ニュースポーツ「クラブ」の交流競技・体験会を実施したところ，市内の幅広い年齢層からなる16チームが参加し，地域間の交流も図られました。

また，延期しておりました「令和3年大崎市成人式」を，11月21日に市内7会場で1,158名の方を対象に実施いたしました。

当日は，コロナ対策として式典時間の短縮や古川地域では3部制での開催となりましたが，一生に一度の成人式を祝い，大人になったことを自覚し，自ら生き抜こうとする新成人の皆様を心から励ますことができ，安堵しているところであります。

○文化財保護について申し上げます。

11月27日に岩出山文化会館を会場として「江戸時代の始まりと幕末・維新の岩出山」と題した講演会を，大崎市誕生15周年記念事業として開催いたしました。当日は，市内外から多くの方々にご来場いただき，岩出山地域の歴史や文化に理解を深めていただきました。

あわせて、旧有備館では、9月22日から11月28日まで、秋季企画展「岩出山の城と町」も開催いたしました。

今後も、市内の文化財の活用を図りながら、大崎市の魅力を広く発信してまいります。

○下水道事業について申し上げます。

公共下水道の雨水対策につきましては、古川楡木雨水排水ポンプ場の増設工事が9月末に完成し、10月20日に国や県、市議会の皆様など多数の来賓者をお招きし、竣工式を執り行いました。

今後も、雨水対策事業を進め、浸水被害の軽減に努めてまいります。

○病院事業について申し上げます。

地域医療全体の資質向上を目的に、10月27日、「第15回大崎市民病院登録医のつどい」を、オンラインを併用しながら開催したところ、31施設47名の登録医にご参加をいただきました。

当日は本院のコロナ禍での地域医療や認知症センターの取組を紹介するなど，登録医との連携交流を図ったところでございます。

今後も「病を治す医療から，病い人を診る医療」と「地域完結型医療の推進」に向けて地域の医療機関や関係機関との連携の強化を図ってまいります。

初期研修医の確保につきましては，アカデミックセンターを中心に，職員の教育研修体制の強化に取り組んでおり，令和4年度の初期研修医の募集において，3年連続で定員の19名を確保することができました。

引き続き，教育研修体制の整備に努めてまいります。

以上，主な事項について申し上げますが，今定例会へ提案いたします第2次総合計画後期基本計画や補正予算等議案に関する説明は，別途申し上げることとし，行政報告といたします。